'25年目指し基礎固め
中期経営計画発表
旭硝子

旭硝子㈱は、二〇一八年から二〇二〇年に渡る新中期経営計画、AGCプラス―二〇二〇を策定し、発表した。

同社では、二〇二五年の目指すべき在り方として、ガラス（建築用ガラス製品や既存の自動車用ガラス製品）、化学品、ディスプレイ、セラミックスといったコア事業の収益基盤を確固たるものとし、モビリティ分野（エコカー用部材や自動運転技術に伴う従来とは異なる自動車用製品など）、エレクトロニクス（半導体など）、ライフサイエンス（農薬やバイオ医薬など）といった分野を的にした戦略事業が収益拡大を牽引することで、高収益なグローバル優良素材メーカーとなる事を目指している。

今回策定された新中期経営計画では、二〇二〇年までは、その礎を構築する期間として位置付けており、次の各種施策に取り組む。

二〇二〇年度での経営財務目標として、営業利益二千六百億円以上（二〇一七年度実績一千百九十六億円）を掲げた。セグメント別の営業利益目標は、ガラス四百五十億円（同二百七十一億円）、電子三百五十億円（二百七十三億円）、化学品八百億円（同六百三十七億円）をそれぞれ目標として掲げた他、ROE〈＝株主資本利益率〉八％以上（同六・一％）、戦略事業利益貢献比率二五％以上（同一〇％）、D／E〈＝負債資本倍率〉〇・五以下（同〇・三八）を目指すとした。

同社グループの持つ主要な課題として(1)市況変動に強い高付加価値事業を伸ばす(2)戦略事業の成長戦略を推進する(3)成長市場・勝てる地域へ経営資源を集中する(4)戦略的なM&Aにより持続的成長を図るという四点を挙げている。

具体的な各事業セグメントの施策として、ガラスセグメントの内、ビル産業ガラス分野では成長地域への注力やスマートシティ化を見据えた高機能ガラス化の推進に取り組む。オートモーティブ分野ではエコカーや自動運転化による高機能ニーズへの対応に取り組む。

電子セグメントでは、液晶用ガラス分野での更なるコストダウンとエレクトロニクス分野での製品の差別化に注力する。

化学品セグメントでは、クロールアルカリ分野でM&A効果の最大化と東南アジアでの事業成長、フッ素分野では独自技術を活かした市場の取り込み、ライフサイエンス分野での事業拡大に注力していくとした。

法改正の義務化に向け
3種類の資料提供
ジャパンホームシールド

3種類のパンフレット

ジャパンホームシールド㈱（略称―JHS、東京都墨田区両国二―一〇―一四、両国シティコア☎03〈6872〉1157）は、四月に改正される宅建業法によって、住宅状況調査（ホームインスペクション）の説明が義務付けられるのに先立ち、「住宅インスペクションアプローチブック」、売り主向けの解説パンフレット「住宅検査のススメ」、買い主向けの解説パンフレット「家の健康診断」を作成した。これらのパンフレットは、同社が展開する不動産売買支援サービス「Homile（ホーミル）」の登録事業者に無償で提供する。

「住宅インスペクションアプローチブック」では、ストック住宅の売買時に必要となる住宅状況調査結果説明の方法や要点についての解説が掲載されている。

消費者や不動産事業者を対象にした意識調査では、ストック住宅売買時の不安や心配事が立場によって異なっている。そのため、売り主や買い主といったそれぞれの立場の顧客に向けて、住宅状況調査について、よくある質問事項などを掲載している。

住宅状況調査の説明に不安を抱える事業者は、これらのパンフレットを活用することで、検査によって得られるメリットから既存住宅瑕疵保証までの手順などをよりわかりやすく説明できる。

同社が展開する「Homile」の詳細や登録方法については同サービスのウェブページ（http://www.homile.jp/）を参照。

契約までを大幅簡易化
AIで見積作成
ユニバーサルスペース

㈱ユニバーサルスペース（神奈川県横浜市戸塚区戸塚町三〇〇二☎045〈392〉6015）は、AI（人工知能）による画像認識の技術を用いて、手摺の取り付けや段差の解消などを行う介護リフォーム工事の見積りを作成するシステムを開発し、四月にリリースする。

同システムでは、現地調査を行う際にタブレット端末を用いる。専用のアプリケーションで現地の写真を撮影し、間取りを選択するだけで自動的に見積りが作成される。作成された見積りのデータはインターネットを介して管理システムとの連携が行われる。

作成された見積りの内容に問題が無ければ、工事に関わる契約の締結や工事代金の決済も可能となるため、施工に取りかかるまでの期間を大幅に短縮できる。

写真を撮ると見積りが作成される

従来では現地調査から見積りや図面の作成などを経て、契約に至るまでには短くても約一週間程度の日数を要するが、同システムを活用することで、現地調査時に見積りや図面の作成ができ、契約締結も行えるため、最短で現地調査（三十分から六十分程）の作業中に契約までを完了させることも可能となる。

システム概要

同システムは、同社が運営するフランチャイズチェーン「介護リフォーム本舗」の加盟企業に提供されるが、同チェーンに加盟をしていない介護リフォーム事業者でも無料で使用できるプランがリリースされる。

近年、自立支援介護の比重が増しており、介護リフォームによる自宅の環境を整備する需要が高まっている。同社では介護リフォームに要する時間を短縮し、自宅の危険を一日でも早く取り除けるようにと同システムの開発に取り組んだ。

今後は同システムの展開と合わせて、同社が運営する「介護リフォーム本舗」の店舗展開を加速させる。フランチャイズの店舗数は現在全国で三十三店あるが、二〇一八年末までに全国で六十店舗の体制へと拡充するとしている。

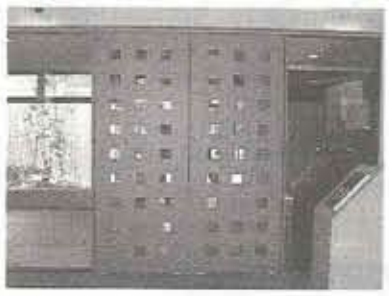
第3四半期業績

四国化成工業㈱は、売上高三百七十六億一千万円（前年同期比四・三％増）、営業利益六十一億七千二百万円（同一六・二％増）、経常利益六十五億九千六百万円（同一・〇％増）、親会社株主に帰属する四半期純利益四十五億一千百万円（同一一・四％増）で増収増益した。

セグメント別の業績を見ると、建材事業ではエクステリア商品が住宅・景観分野共に好調に推移した結果売上高百三十七億四千三百万円（同五・八％増）、セグメント利益二十三億一千六百万円（同一四・〇％増）で増収増益となった。化学品事業は売上高二百三十三億二千百万円（同三・四％増）、セグメント利益五十二億一千万円（同一二・五％増）で増収増益した。

二〇一八年三月期通期の連結業績は、売上高五百億円（同一・一％増）、営業利益七十五億円（同四・五％減）、経常利益七十八億円（同六・〇％減）、親会社株主に帰属する通期純利益五十五億円（同五・八％減）見込んでいる。

THU AUTO DOOR
HASHIDA GIKEN Inc.
新世代マイコンドア EDM SERIES



・デジタル表示を実現
・モータ出力30%アップ
・業界初拡張ボード方式を採用
・施工時間を大幅短縮
・中心吊りのドアハンガー採用
・低騒音を実現
・ティーチングは設置時の1回のみ
・キット販売もOK

ハシダ技研工業株式会社 自動 THU
Hashida Giken.inc
本　社　〒547-0001　大阪府平野区加美北6丁目15-14
☎ 06-6791-7000(代表)　FAX. 06-6792-2311
オートドア事業部　〒632-0101　奈良県奈良市下深川町108
☎ 0743-84-2009　FAX. 0743-84-2002
<ホームページ>　http://www.hashida-giken.co.jp